

公共DXカタログ SPIRAL® 以外の事例

2025年7月1日



茨城県つくば市様

テーマ：スーパーシティでインターネット投票を実現したい

課題

公職選挙を見据えたインターネット投票を実施したいが、1人一票の実現・投票の秘密を守り公正性を担保するデータ管理・誰もが投票できるアクセシビリティの追及等難易度が高い

解決策

- ①投票・調査の目的や規模、期間に応じて、個人認証やデータ管理の方法を柔軟に組み合わせた、最適なプランニングを実施
- ②マイナンバーカード認証やブロックチェーンの利用も可能な、セキュアな投票システムを提供。視覚に障害のある人も音声読み上げ機能を利用して投票できるアクセシビリティを追求

選定理由

- ①選挙・投票に関する知見と開発実績
- ②選挙ごとにセキュリティや個人認証の方法などカスタマイズが可能
- ②市の提供するアプリや認証基盤との連携が可能

効果

- ①従来の選挙で必要な、投票所（投票箱や投票用紙、人件費）や開票所（超過勤務手当含む人件費）にかかる経費の削減を実現
- ②投票データを自動的に集計し、結果を迅速に表示
- ③スマートフォンの音声読み上げ機能が問題なく利用できるなどといったアクセシビリティが向上

投票画面イメージ

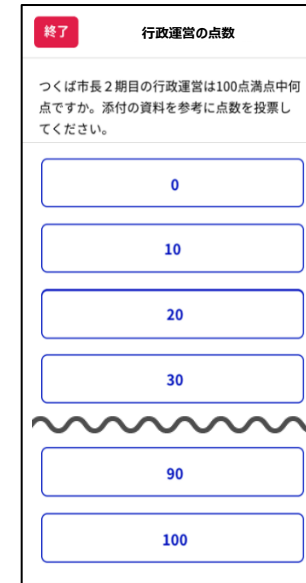
公職選挙タイプ



画像選択タイプ



点数選択タイプ



インターネット投票
サポート窓口の様子



インターネット投票の様子



子育て支援パスポート「AYUCO」の電子化

神奈川県 厚木市様

テーマ：子育て世帯と地域商店への支援の促進

課題

従来は子育て支援サービス事業を「紙」ベースで行っていたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い電子化が急務であった。また、感染症対策と並行して地域経済の振興や子育て世帯の支援などの取り組みも進めていく必要があった。

解決策

子育てパスポートの会員申請やサポーター店舗検索、カード表示等全てをスマートフォンで完結できる電子システムを構築した。

選定理由

- ①使いやすさアップ・・・会員申請や店舗検索、カード表示を全てスマートフォンでできる
- ②新しい生活様式に対応・・・申請やカード受取をスマートフォンで行えるため、来庁する手続が不要になる。
- ③デジタル化で業務効率化・・・カードやガイドブックの印刷費等を削減できるほか、申請受付からカード発行、登録情報の管理、掲載情報の更新等全ての業務を1つのシステム内に集約

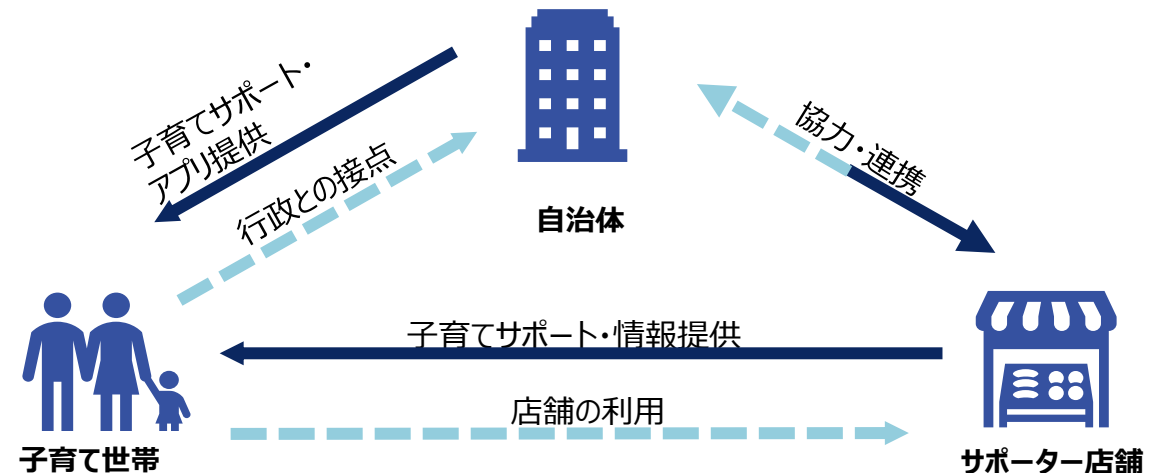
効果

電子化することで利用者・店舗・自治体それぞれの利便性を向上し、地域の活性化・商業振興に貢献した

画面イメージ



自治体・サポーター店舗・子育て世帯の関係図



位置情報付き写真投稿システム「スマ報」

神奈川県 厚木市様

テーマ：市民からの通報を正確に把握し、素早く適切に対応する「市民協働」体制の構築

課題

道路や公園の不具合や不法投棄に迅速に対応したいと考えていたが、限られたリソースで全域を点検するのは難しく、市民協力が不可欠であると懸念していた。また、効率的な情報収集の仕組みが整っておらず、持続可能なまちづくりに課題を感じていた。

解決策

まちの課題に気づいた住民が「道路」「不法投棄」「動植物」などのカテゴリを選択し、スマートフォンなどのカメラ機能やGPS機能(位置情報)を利用して撮影した写真に、コメントなどを添えて市に情報提供をすることが可能なシステムを作成。

自治体担当者はそれらの情報を確認し協力会社等に依頼する手間のみで問題の対応が可能になるようにする。

効果

- ①住民が担当課を調べたり、電話をかけたりする手間や心理的ハードルが減少し、状況提供が容易になった
- ②課題がより正確に伝わるため、担当者の負担が軽減され、情報処理の精度も向上した
- ③まちの課題だけでなく魅力も募集することで、地域の観光資源の発掘や観光促進につながった

スマ報の利用と運用イメージ図



画面イメージ

受付中一覧ページ

受付中一覧				
地図 航空写真				
公園緑地課				
キーワードで絞り込み 投稿日でソート カテゴリでソート				
レポートID	投稿日	カテゴリ	投稿内容	解決前写真
5472	2021/11/17 14:08:54	遊具・施設の破損	ターザンロープのひもの滑り止め部分が古くなり、滑り止め機能がなくなり、滑って危な	

広報広聴 部署

テーマ：「誰一人取り残さない」ための広報紙の電子化

課題

- ①紙ベースの広報紙は配布にコストと時間がかかる
- ②インターネットで見つけにくく、情報の拡散が難しい
- ③視覚に障害のある方や日本語に不慣れな方への情報提供が困難
- ④広報の内容がどれだけ届いているかを把握しにくい

解決策

- ①広報紙をテキストデータ化して誰でも閲覧・検索可能に
- ②音声読み上げ機能や音声データの提供で視覚障害者にも対応
- ③アクセス数や利用者属性を可視化し、広報の効果を測定
- ④自治体ページ機能で自治体担当者が最新情報を更新可能

選定理由

- ①他サービスと比較した際に電子化が手間やコストをかけずにできる
- ②多言語翻訳に対応している
- ③音声読み上げ機能がある
- ④自治体管理者は音声読み上げファイルのダウンロードが可能のため、「声の広報」としても利用できる

効果

- ①広報紙の情報がオンラインで広く見つかりやすくなった
- ②SNSでのシェアにより、さらに広範囲で情報が拡散
- ③音声機能で多様な人に情報が届くようになった
- ④アクセス解析を元に記事改善が進み、広報の効果が向上

リニューアル版画面イメージ



「マイ広報紙」を拡張した専用アプリ「広報プラス」

静岡県 浜松市様

テーマ：自治体ごとの専用アプリで市民との接点強化

課題

国籍の多様化による言語の違いから情報の案内が円滑に行えなくなり、新型コロナウイルス感染症や災害時の情報提供に大きな影響がある懸念があった。
民間の広報紙配信サービスなどの活用をしたものの、紙と比較しての読みにくさから利用者が想定されたほど伸びなかった。

解決策

- ①多言語翻訳と音声読み上げ機能があることで、外国籍市民や目の不自由な市民への、より手厚い情報提供の実現
- ②記事ごとにリンクが用意されているため、記事を探す手間を軽減

選定理由

- ①テキストデータ化の手間がかからず、広報紙のデジタル化や多言語対応、プッシュ通知を、市側の作業負担を軽減しながら行える点
- ②非対面でも住民との双方向のコミュニケーションを強化することが可能な点

効果

- ①毎月の通知で読み忘れを防止、閲覧者数は常に1万前後を推移
- ②「どんな市民も取り残さない」ための機能で情報提供の裾野を拡大

画面イメージ

トップページ

自治体からの「お知らせ」

やさしい日本語に一括変換

100超の言語に翻訳可能

最新の記事一覧

広報紙バックナンバー一覧

自治体HPとRSS連携しお知らせ表示

記事

音声読み上げ機能

マイ広報紙事務局側で記事をテキストデータ化！

静岡県浜松市
広報プラスはままつより

労務・総務 関連部署

テーマ：マイカー通勤には高いリスクがあるが、管理が煩雑

課題

マイカー（自動車・バイク・原付・自転車）通勤を認める場合、職員が通勤途上で交通事故をおこした場合、雇用主が使用者責任等を問われる恐れがあり、通勤管理規定を制定し、規定に従い自動車保険等に適切に加入しているか等を管理するなどの対策を講ずべきとされている。この対策にあたっては、職員から申請を受け付け、免許証や保険証等の写しとともに期限切れ等を管理する必要がある。この業務が非常に煩雑で職員数が多い組織においては大きな負担となっている。

解決策

申請から通勤許可証の発行までの工程をシステム化することで、オンラインで全ての申請管理を完結。手間をかけずに正確な管理が可能。

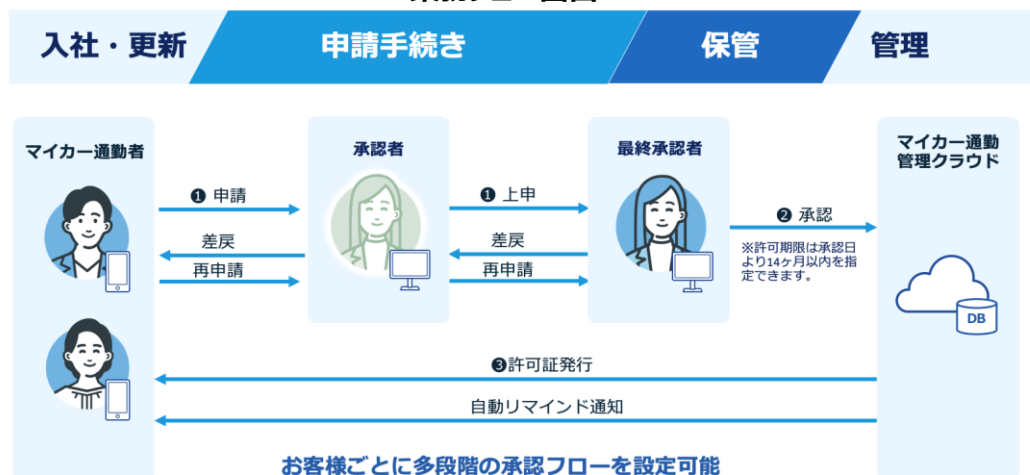
特長

- ①オンラインで解決して管理業務が大幅に削減可能
- ②自動の更新通知で保険等の期限切れリスクを低減
- ③比較的低コスト・短期間で導入が可能

効果

- ・組織：使用者・運行共用者責任を問われるリスクを抑制
- ・労務・総務部門：事務処理量を軽減し、正確性を担保
- ・職員：スマホから簡単に申請が可能、利便性向上

業務フロー画面



画面イメージ

職員向け画面

承認者画面